

総合体育館等26スポーツ施設指定管理者検討会 会議録

1 開催日時 令和元年 10 月 7 日（月） 9：40～10：45

2 場 所 北九州市役所 15 階 15C 会議室

3 出席者 (検討会メンバー)

井口構成員、河邊構成員、田代構成員、寺崎構成員、南構成員
(事務局)

市民文化スポーツ局 スポーツ振興課

スポーツ施設担当課長、担当係長、担当職員

4 会議内容

○応募団体（公益財団法人北九州市スポーツ協会）より提案概要に関してヒアリング。

（提案書の内容につき説明）

○応募団体（公益財団法人北九州市スポーツ協会）との質疑応答。

(構成員)

・平成30年度の一般会計収支計算書のお金の流れを説明してほしい。

(応募団体)

・再委託の見積りに誤りがあったため、再入札を行った結果、金額が高くなった。従来、再委託していたものを直接行うことで、経費の削減に取り組んだ。

(構成員)

・多種多様なマニュアルを作成しているが、どのように従業員に周知しているのか。

(応募団体)

・すべてを周知するのは難しい。接遇を第一と考えている。年に4～5回の研修会を実施し、メニューを変えて行っている。

(構成員)

・再委託一覧に金額が記入されていないが、見積もりは徴収していないのか。

(応募団体)

・試算しているが確定していないため、再委託一覧に記載していない。

(構成員)

・応募団体には多くの加盟団体があるが、施設の管理運営上、利用者数増加に向けて、具体的にどのような取組みを行うのか。

(応募団体)

・バドミントン、卓球、バスケ、バレー、フットサルなど、使用頻度の高い団体と連携しながら、利用者数の少ない平日利用を促している。また、卓球協会では年明けに大会があるため、年末年始は休館日であるが、練習への活用を考えている。

(構成員)

- ・利用者を増やす取組みとして、HPでの広報がある。現在のHPを閲覧したが、例えば施設の案内に利用時間や料金の案内が無く、見にくい。HPはいつ作成し、リニューアルは行っているのか。

(応募団体)

- ・平成24年度に作成し、リニューアルを計画している。

(構成員)

- ・自主事業の充足率はどれくらいか。また、ニーズの把握はどのように行い、施設に足を運んだことのない人をどう取り込むように考えているか。

(応募団体)

- ・充足率は、健康教室では目標の70%、スポーツ教室では100%を超えている。スポーツ教室は、講師を増やして対応する。
ニーズについては、参加者に資料を配布して、意見を聞いている。

(構成員)

- ・参加者募集のビラでは、往復はがきでの応募となっているが、若い世代はスマホを見る。スマホなどからの申し込み対応は考えているのか。年代に応じた募集方法を掲載したビラを作成するとよいのではないか。

(応募団体)

- ・往復はがきでの応募は従来から行っており、その方がいいという人もいる。また、ネット申し込みは行っているが、チラシへ掲載していない。これから改善する必要があると考えている。

(構成員)

- ・会議室の有効利用について提案しているが、空き状況はインターネットなどで簡単にわかるのか。

(応募団体)

- ・インターネットには対応していない。空き状況は施設へ電話で確認する必要がある。また、施設で空き状況を掲示する。地域の自治会や絵画教室などに開放する。

(構成員)

- ・総合型地域スポーツクラブでは文化的なプログラムが入っている。文化的な要素を入れることで、普段、スポーツ施設を利用しない人にも足を運んでもらい、新しい人を取り込む取組みも必要ではないか。

(応募団体)

- ・文化的な要素は考えていないが、総合体育館は、大規模な大会が行われているというイメージあり、個人で利用できるということがあまり知られていない。そこで、総合体育館でいろいろなことが出来ることをPRするイベントを計画している。チラシを広く広報すること、ホームページの改善も計画している。

(構成員)

- ・新しく施設を利用する人、事業へ参加する人とリピーターの割合はどれくらいか。

(応募団体)

- ・新規利用は2割ほど。教室はほとんどが継続利用者であるが、シニアを対象としたストレッチ教室は口コミで新規利用者が増えている。希望の多い教室は開催日を増やして対応している。

(構成員)

- ・市に要望はあるか。

(応募団体)

- ・利用者から、主催・共催事業が多いため、一般利用者が使用できないという声がある。主催・共催事業について制度の見直しを検討してほしい。

(構成員)

- ・仕様を達成するために現場に負担があるのではないか。無理なく働くことのできる提案となっているか。

(応募団体)

- ・スタッフは協力的であり、無理なく行うことが出来る。事業係と管理係があるが、連携し協力しながら業務を行っている。

(構成員)

- ・HPの改修の際には、業務の負担軽減につながるものにしていただきたい。

(構成員)

- ・協会の組織が大きいため、マンネリ化している点はないか。

(応募団体)

- ・評議員や加盟団体は年数での交代や定年制を設定しているため、例年、40%は新規である。そのため、新しい意見をもらうことが出来ている。

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換。

(構成員)

- ・応募団体としての活動と指定管理者の立場を整理してほしい。

(構成員)

- ・施設の有効利用について、あと一步の工夫や取組みがほしい。
- ・大会準備などで縛られるのは仕方ないが、もっと踏み込んだ提案がほしい。

(構成員)

- ・しっかりとした体制で適正な対応ができる。
- ・行政や競技団体との連携に期待できる。

(構成員)

- ・団体の特徴を活かした安定的な運営が期待できる。
- ・若い世代やIT環境の変化への対応が不十分である。

(構成員)

- ・財政的にみると不安があり、東京の会計事務所にサポートを委託しているが、地元でつながりをもってサポートを受ける体制を整えてはどうか。
- ・資料の作り方や提案の仕方を勉強してほしい。
- ・評議委員など、スタッフの入れ替わりがある点は安心した。

5 検討会としての検討結果について

各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての各審査項目の評価レベルを下記のとおり、決定した。

1 指定管理者としての適性のうち、

- (1) 施設の管理運営に関する理念、基本方針については、3
- (2) 安定的な人的基盤や財政基盤については、3
- (3) 実績や経験などについては、3

2 管理運営計画の適確性に関する有効性のうち、

- (1) 施設の設置目的の達成に向けた取組みについては、3
- (2) 利用者の満足度については、3

効率性のうち、

- (3) 指定管理業務に係る経費については、3
- (4) 収支計画の妥当性及び実現可能性については、3

適正性のうち、

- (5) 管理運営体制などについては、3
- (6) 平等利用、安全対策、危機管理体制などについては、3

- ・施設の有効活用などについての提案に物足りなさはあるものの、競技団体との連携も含めしっかりした人的基盤を有しているため、安定的な運営が期待できる。また、組織内の評議員などの入れ替わりが一定数あることから、環境の変化に対応した運営に期待できる。以上のことから、総合体育館等26スポーツ施設の業務を行うのに十分な適格性を有していると考えます。

- ・付帯意見について。財務管理を厳格に行い、安定的で持続可能な運営を確保すること。